

令和8年度 履修証明プログラム
「化学反応創成人材育成プログラム」
受講申込書

年 月 日

北海道大学大学院教育推進機構 機構長 殿

フリガナ				写 真 出願3ヶ月以内に 撮影された、正面 上半身無帽のもの。 全面貼付すること。 (3cm×3.5cm)		
氏 名						
英語表記		(Family, First, Middle)				
生年月日		年 月 日 生				
本籍／国籍				男 ・ 女		
現住所		(〒 -) TEL				
電子メールアドレス						
所属(会社名等)						
履修を希望する授業科目名 ※履修を希望する授業科目名の左欄に○を付してください。			単位 相当数	授業形式	担当教員	備考
必修 科目	☐	MANABIYAエデュケーション	2	対面	MANABIYA担当教員	10単位相当
	☐	化学反応創成学	2	オンデマンド	前田 理、LIST Benjamin 他13名	
	☐	実践的計算化学	2	オンデマンド	武次 徹也 他3名	
	☐	有機化学と計算化学の融合論	1	対面	美多 剛	
	☐	0から始めるマテリアルズインフォマティクス	1	オンデマンド	高橋 啓介	
	☐	分子理論化学の基礎	1	オンデマンド	小林 正人	
	☐	生成AIと最先端ハードウェアの未来	1	オンデマンド	島田 敏宏	
選択 科目	☐	超分子化学	1	オンデマンド	猪熊 泰英、伊藤 肇	1単位相当以上 選択すること
	☐	分子のひもの物理学:ポリマー溶液とゲル	1	オンデマンド	中島 祐、龔 剣萍	
	☐	実感する化学熱力学	1	オンデマンド	中島 祐	
MANABIYAエデュケーションの履修を希望する研究室 ※指導を希望するPI研究室の左欄に○を付してください。 ※各研究室のMANABIYA研究テーマはこちらを参照ください。						
		担当教員	テーマ		担当教員	テーマ
		前田 理	反応経路自動探索法を用いた反応機構の理論解析と予測		猪熊 泰英	小分子から中程度のサイズの分子合成と結晶学
		武次 徹也	励起状態の計算と不均一系触媒設計		長谷川 靖哉	高輝度かつ高耐久性を有する発光性材料
		山本 哲也 【ルビンスタイン グループ】	高分子材料やマクロ分子の理論計算		龔 剣萍 (グン・チェンピン)	高機能ソフトマテリアルの開発
		吉岡 真治	化学研究論文からの情報抽出		小川 美香子	生体利用を目指した蛍光色素開発
		ストーブ・ルーベン 【ヴァーネック グループ】	Advanced chemical data management and modeling (英語のみで提供されます)		津田 真寿美	新規材料による細胞制御と次世代新規診断法開発
		瀧川 一学	データ活用技術の設計と改良		陳 旻究 (ジン・ミング)	結晶における分子ローターと個体機能の開発
		小松崎 民樹	化学反応の相空間幾何学とオンライン機械学習による 実験迅速化		シドロフ・パペル	Chemoinformatics tools for chemical data management, analysis and QSAR modeling (英語のみで提供されます)
		伊藤 肇	小分子と多様な元素を用いた新規反応開発		高 敏 (ガオ・ミン)	計算化学と触媒シミュレーション
		辻 信弥 【リスト グループ】	有機触媒を用いた新規反応開発		江 居竜 (シアーン・ジョン)	計算化学を用いた化学反応性の探索